

全鉄連流通動態調査結果表 2021年1月分

(2021. 2. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		12月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,024	106.5%	36,057	87.0%	35,275	85.8%	5,806	115.6%	
	大阪	3,146	116.2%	16,947	98.3%	16,700	99.4%	3,393	107.9%	
	愛知	2,908	99.9%	4,155	96.8%	4,121	96.0%	2,942	101.2%	
	計	11,078	107.2%	57,159	90.8%	56,096	90.2%	12,141	109.6%	
形鋼	山形鋼	東京	17,051	101.3%	7,176	86.5%	6,863	85.0%	17,364	101.8%
		大阪	20,388	100.9%	8,763	92.5%	8,509	91.5%	20,642	101.2%
		愛知	8,013	102.3%	4,500	84.8%	4,298	83.8%	8,215	102.5%
		計	45,452	101.3%	20,439	88.6%	19,670	87.4%	46,221	101.7%
	溝形鋼	東京	14,661	100.2%	5,062	104.4%	5,137	106.6%	14,586	99.5%
		大阪	12,263	108.8%	5,671	85.2%	5,006	88.3%	12,928	105.4%
		愛知	6,248	101.9%	2,941	87.2%	2,734	84.0%	6,455	103.3%
		計	33,172	103.6%	13,674	91.9%	12,877	93.7%	33,969	102.4%
	H形鋼	東京	30,903	109.2%	14,784	88.7%	13,386	95.0%	32,301	104.5%
		大阪	45,405	104.1%	26,015	94.9%	23,147	90.4%	48,273	106.3%
		愛知	14,921	93.6%	8,149	82.6%	8,551	78.6%	14,519	97.3%
		計	91,229	103.8%	48,948	90.7%	45,084	89.2%	95,093	104.2%
合 計		169,853	103.1%	83,061	90.4%	77,631	89.4%	175,283	103.2%	
コ ラ ム	東京	9,153	110.0%	2,648	75.9%	1,882	70.9%	9,919	108.4%	
	大阪	15,186	98.4%	2,864	119.6%	3,173	120.1%	14,877	98.0%	
	愛知	1,609	109.7%	1,418	101.9%	1,273	101.9%	1,754	109.0%	
	計	25,948	102.9%	6,930	95.3%	6,328	96.7%	26,550	102.3%	
軽量C形鋼	東京	3,499	109.3%	2,050	81.9%	2,026	91.9%	3,523	100.7%	
	大阪	3,230	106.4%	1,324	72.0%	1,383	84.1%	3,171	98.2%	
	愛知	2,210	103.8%	914	81.0%	858	81.9%	2,266	102.5%	
	計	8,939	106.8%	4,288	78.4%	4,267	87.1%	8,960	100.2%	
総 計		215,818	103.4%	151,438	90.4%	144,322	89.9%	222,934	103.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。